

1 モニタリングシート（第3四半期）

評価	説明
◎（適合）	適格に実施され、要求水準を超えている。
○（適格）	適格に実施されている。
△（要改善）	一部適格性に欠ける部分があるが、改善案の実施により向上が見込まれる。
×（不適格）	不適格であり、早急または抜本的な改善措置が必要である。

区分	評価項目・評価内容	評価欄
基本事項（総則）		
個人情報の保護 及び秘密の保持	<p>【指定管理者】 個人情報保護マニュアルを作成。個人情報の取り扱いについて、事業者ごとに適切に事務処理を実施している。</p> <p>【市】 適切に処理されている。 (評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報処理マニュアルを作成し、利用者の個人情報など適切に事務処理されている。 各機能ごとに、受講者や施設利用者の名簿、登録情報等適切に管理できている。 職員採用時及び退職後の秘密保持に関する誓約書を提出させている。 	○
事業責任者の配置	<p>【指定管理者】 責任者には、事業ごとに正規社員を配置している。FIITAにて責任者の退職があったが、後任者を配置し現状の業務に支障が出ないような形でシフト調整を行い効率良く配置ができている。</p> <p>【市】 適切に事業責任者を配置している。 (評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求水準の基づき、事業ごとに適切に正規社員を配置している。 	○
市との調整	<p>【指定管理者】 月に一回「まるくる日和」を実施。市民センター所長会議、職員部会等も参加している。また、要望があれば臨時会にも応じる。</p> <p>【市】 定例・随時、調整が図られている。 (評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会（まるくる日和）を設置し、毎月、SPC構成企業と市の関係部署が一堂に会し、施設の運営・管理状況などの情報共有を図っている。 また、課題や苦情等に関する協議については、随時、連携を取りながら、その解決について共有・協議できている。 	○
地域貢献	<p>【指定管理者】 地域在住の職員の雇用、地元企業への発注による、地域雇用の促進を行った。また、青少年育成廿日市市民会議大野支部、大野地域人権啓発推進協議会、区長会などに参加をし、情報交換・発信を行っており、地域と密接な関係を構築している。</p> <p>【市】 積極的に地域貢献に努めている。 (評価ポイント)</p>	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元人材の雇用・活用（従前の雇用継続を含む）、地元企業への業務発注等、積極的に地域貢献に努めている。 ・ 青少年育成廿日市市民会議大野支部や大野地域人権啓発推進協議会、大野区長会等の地元団体の各種会議・行事・イベントなどの活動にも参画し、地域協働に努めている。 ・ 特に、立地地元コミュニティとは、地域イベントへの参加や施設での協力事業など、密接な関係性の構築に努めている。 	
維持管理・運営基本事項		
総則	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に職員配置を行い、運営を実施している。また、職員に必要な研修を受講させ、有資格者を配置することで、管理体制を確立している。また、主催事業について事業報告書記載の通り、各社連携を行いながら、様々な事業を行っている。</p> <p>【市】 適切に運営・維持管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要求水準書に基づき、各業務に正副責任者を配置し、適切に運営されている。 ・ 東急コミュニティが施設全体の総括責任者を配置し、全体調整を図りながら、効率的に施設運営されている。 ・ 業務ごとに有資格者を配置し、適切に運営されている。 ・ 各種業務に関するマニュアルの作成、職員研修を行い、サービスの質の向上に努めるとともに、安定的な業務履行体制を確立している。 ・ 講座など、無料、低廉な価格設定を行い、市民が参加しやすい環境を提供できている。 ・ 要求水準に基づき、事業毎に必要なに応じて保険加入している。 	○
総括管理業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に統括管理業務を実施。各事業者での協力・連携、情報共有も適切に行っている。</p> <p>【市】 適切に施設の維持管理・運営業務を総括的に取りまとめている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画書、事業報告書の提出、定例会における情報共有等適切に行われている。 ・ 危機管理マニュアル、消防計画を作成し、非常時に備えた体制が整っている。また、避難所運営マニュアルを市の危機管理課と調整を行い作成している。 ・ 避難所開設時には、場所や環境の確保等、避難所運営支援を適切に行うことができている。 ・ 意見箱の設置や日常業務での利用者ヒアリング等で利用者モニタリングを実施し、サービスの向上に努めている。 ・ 図書館では意見箱の設置、利用者アンケート、子育てリビングでは、面談、SNS等を活用したモニタリングを実施している。 ・ また、その内容については、毎月開催される「まるくる日和」において、市と共有するとともに、必要に応じて、課題協議を行っている。 ・ 市の要請に応じ、協議、会議等に出席している。その他市民センタ 	△

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<p>一所長会議・職員部会、図書館協議会・館長会議・担当会議、子育て支援ネットワーク会議等、各種会議、協議の場に積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他自治体等からの視察等に積極的に協力・参画している。 <p>(指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 従前からの指摘事項である長寿命化計画について、当初提出はされているものの、内容に不備があり再提出を求めているが未提出状態である（東急コミュニティー策定中）。 	
維持管理業務		
共通事項	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。空調・電気ではタイマーを設定しており、水光熱費の削減に努めている。また、今後は修繕計画に基づき、故障前の予防保全の修繕を心掛ける。</p> <p>【市】 適正、適切に予防保全に取り組み、維持管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者のノウハウを活かし、総括責任者を中心とした安全管理、効率的な運営ができている。また、効率的な設備運用により省エネにも努めている。 策定した総括計画に基づき、職員を適正に配置し、点検や不具合への迅速な対応により、安全安心な快適な環境を提供できている。 子育てリビングでは、常に遊具点検を行うとともに、職員を適切に配置し、見守り・声かけを行いながら、安全に楽しく過ごせる時間を提供している。 日常的に専門職員が巡回を行い、施設・設備の稼働状況を確認するとともに、即応可能な不具合について迅速に対応するなど、物的劣化等による危険・障害等の未然防止、施設・設備の予防保全に努めている。 	○
業務水準		
建築物維持管理	<p>【指定管理者】 維持管理、点検については要求水準書に基づき適切に実施。不具合が見つかった際は都度フジタのアフター対応で即座に解消している。アフター対象外の場合は東急コミュニティーにて対応。</p> <p>【市】 適正、適切に維持管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門職員による日常巡回点検とともに、維持管理計画に基づき専門事業者による定期点検を実施している。 利用者等からのクレーム対応については、市と共有しながら迅速に対応できている。 不具合発生時には、建設担当事業者が迅速に小修繕等対応できている。対応が困難なケースの場合は、適切に工事発注等により対応できている。 	○
建築設備維持管理	<p>【指定管理者】 維持管理、点検については要求水準書に基づき適切に実施。不具合が見つかった際は都度フジタのアフター対応で即座に解消している。アフター対象外の場合は東急コミュニティーにて対応。</p> <p>【市】 適正、適切に維持管理し、正常に稼働している。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市とも協議・調整し、施設の快適性と効率性を確保・維持しながら、設備の運転時期や時間等決めるなど、効率的な設備運用とともに、 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<p>省エネにも務め、適切に運転・監理できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備の定期点検や法令に基づく建築設備の点検を適正に実施し、すべての建築設備は正常に稼働している。 	
備品等保守管理	<p>【指定管理者】 維持管理、点検については要求水準書に基づき適切に実施。利用者からのご要望などは内容精査の上、順次対応している。</p> <p>【市】 適切に管理されている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 備品台帳を整備し、適切に管理できている。 利用者からの要望について市と協議し、必要と認められるときは、適宜、更新・購入し、対応している。 備品等の不具合などクレームが発生したときは、迅速かつ適切に対応している。 	○
清掃業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。利用者からのクレームなども発生していない。</p> <p>【市】 適切に良好な環境が保たれ、快適で安全な環境が維持できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期清掃、日常清掃（清掃・消毒）により、環境衛生を維持し、快適な環境を保持できている。 業務実施に当たっては、利用者の利用や施設の業務に影響のないよう配慮できている。 環境・衛生に関するクレームは出ていない。 衛生消耗品については、適宜補充されている。 劣化や機能低下が生じないよう施設内・外等、適切に清掃が行われている。 害虫駆除については、定期的に全館で実施 ルールを掲示するなど利用者に周知・理解を得ながら、「ゴミは持ち帰る。」を原則に、ゴミ箱は設置していない。 施設から出たゴミについては、適正に処理されている。 	○
環境衛生業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。利用者からのクレームなども発生していない。</p> <p>【市】 法令に基づき適正に環境衛生管理業務が行われている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務年間計画に基づき定期的に空気環境測定し、適正に衛生管理できている。 定期的な空気測定を実施 消防署の立入検査への対応 	○
警備業務	<p>【指定管理者】 機械警備、巡回、IC ゲートにより防犯・防災警備を実施している。</p> <p>【市】 適切に防犯、防災警備が行われている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視カメラの設置、職員による巡回警備、職員配置による見守り、機械警備により、年間を通じて、適切に防犯、防災警備が行われている。 大会イベント時には、適切に職員を配置することや主催者と協議の上駐車場誘導員等を配置させるなど、安全対策を図っている。 施設危機管理マニュアルを整備し、適切に対応できる体制を整えて 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<p>いる。また、全職員が救急救命講座を受講し、適切に対応できるような人材育成を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施（10月） ・不審者対応について、訓練を実施予定 ・安全計画に基づき、対応体制を確立 	
外構施設保守管理	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。利用者からのクレームなども発生していない。</p> <p>【市】 適切に保守管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備専門職員を配置し、適宜、点検等を行い、施設の機能と環境を維持できている。 ・公共サービスが常に円滑かつ快適に提供できるよう、日常点検・清掃を行い、清潔・美観を保持している。 	○
植栽管理業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。利用者からのクレームなども発生していない。専門業者による作業は適宜実施。それ以外にも毎月現地スタッフで植栽確認を行い、必要に応じて芝刈り、水やりを実施している。5月には灌水設備も設置済。</p> <p>【市】 適切に維持管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務計画に基づき、職員による日常巡回点検、専門事業者による保守作業を行い、緑化等の植物を保護・育成・処理して良好な環境を維持できている。 ・灌水装置を設置し、効率的な散水を行い、植栽の良好な状況を保っている。 	○
駐車場・駐輪場管理業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。イベント時には近隣駐車場を借用することで対応している。また事前にイベント主催者と協議して、利用に支障が出ないように調整している。</p> <p>【市】 適切に管理できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常以上に車両が来場する大会等が行われる際は、主催者と協議して、誘導員を設置させるなど、安全を確保している。 ・また、既設駐車場では不足する場合は、隣接の公有地や近隣の民有地を借用し、路上駐車防止等に努めている。 ・長期駐車車両・放置車両対応マニュアルを整備するとともに定期巡回を行い、不適切駐車などの未然防止に努めている。 	○
修繕・更新業務	<p>【指定管理者】 常駐設備員にて適切に実施。常駐設備員で対応不可なものはフジタのアフター対応で早急に対応している。</p> <p>【市】 長寿命化に基づく計画修繕については未実施のため評価外とする。経常修繕については、適切に管理し、施設の正常な稼働が保持されている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備専門職員による日常的な巡回や法令に基づく定期点検など適宜・適正に行われ、施設の正常稼働に努めている。 ・設計図書に影響のある修繕等については、竣工図等を提出し、最新の図書を維持している。 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
運営業務		
総合案内貸館業務	<p>【指定管理者】 予約システムにて適切に運営している。窓口や電話での問い合わせに対しても、真摯に対応している。 定例団体とも日々交流することで、良好な関係を築けており、円滑に運営ができています。</p> <p>【市】 適切に対応できている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや予約管理システム、掲示板への掲載等により利用状況などの情報を積極的に提供している。 ・電子メールや窓口で職員を専従させるなど、各種問合せに対応できている。 ・利用予約（施設・備品）については、予約管理システムを主として行っており、円滑な受付業務ができています。 ・社会体育施設の貸出事務等について、適切に行われている。 ・定例活動団体の優先予約については、登録制を継承するとともに、公平性を確保した調整ができています。毎年12月に調整会議を実施 ・支払方法は、現金、クレジットカード、電子マネー等幅広く対応し、利便性の向上に努めている。経理処理については、適切に処理が行われている。 ・利用者等からの苦情にも迅速かつ適格に対応できているとともに、定例会議（まるくる日和）において、市との情報共有も図られている。 ・施設のメンテナンスを効率的に行うため、市と協議の上、全館休館日を設定している。 ・図書館については、特別整理日や毎月の図書整理日を設定し、蔵書整理を行い、分かりやすい図書の維持や設備等の点検を行っている。 	○
広報・プロモーション業務	<p>【指定管理者】 パンフレットを作成し、掲示している。また、予約方法、利用方法など事業者ごとに準備しており、必要に応じて配布している。 施設各所へのイベントチラシの設置や、区長会連合会に依頼して地域の回覧に回していただいたり、小中学校に配布依頼をするなど、様々な方法で広報活動を行っている。 HPだけでなく、SNSでも情報発信を行っており、Instagram、Twitter、Facebookで情報発信をしている。</p> <p>【市】 積極的に施設の利用促進やイベントへの参加促進に努めている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設案内については、施設内設置案内板やパンフレットを設置するなど、分かりやすく案内できている。 ・施設案内やイベント情報など施設に関する情報を施設ホームページやFacebook、Instagram、LINE等SNSの活用やちらしの作成・配布等により最新の情報を発信するとともに、文字サイズや色合い、3カ国語対応などユニバーサルデザインを導入し、利用者、特に障がい者に配慮できている。 ・市民センターだより「きょうごや」や「図書館だより」を発行、配布（大野地域）し、施設情報を発信している。 ・毎年12月に定例活動団体の調整会議を実施 ・共有スペースを広く開放し、様々な世代の利用に供している。 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
交流促進業務	<p>【指定管理者】 2月では定例団体などの活動団体の広報活動を支援する、講座を実施予定。12月には廿日市市で活動する専門家の方々に、自身の仕事や体験などを説明いただく講座を実施。また、市民センターまつり等でロビーホールを活用して、利用団体の作品の発表の場の創出も行っている。</p> <p>【市】 様々な機会・場を提供し、市民の交流を促している。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全館イベント「まるくるフェスタ」や「スポーツフェスタ」など、集客力の高いイベントを実施し、多くの来館者を得るとともに、幅広い年代の交流につながっている。 ・ロビーホールを活用し、定例活動団体の活動成果の展示、発表を行い、市民活動の意欲の向上と生涯学習の推進や作品を通じた市民との交流とともに、市民の生涯学習への参加機会の提供に取り組んでいる。 ・市民ロビーホールや青少年サロン、各種広場を市民に開放し、子どもから高齢者までの幅広い市民が自由に寛ぎ、会話し、市民の居場所として利用が広がり、新たな交流と賑わいが創出できている。このことは、施設の利用者の増加に大きく貢献できている。 ・市民の交流の場や世代を超えた交流を促進するため、各種講座、イベント等を開催している。 	○
健康増進業務		
スポーツの普及促進	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に人員を配置し、適正な運営を行っている。事業報告書記載の通り、講座・イベントについても、事業者間で連携をしながら実施している。トレーニング室についても、計画通りに運営中。登録者数も堅調に推移している。</p> <p>【市】 幅広く市民のスポーツを通じた健康増進に努めている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者でも気軽に安心してトレーニングに取り組めるよう、専門職員を配置し、適切に運営できている。 ・市民のスポーツや健康づくりを始めるきっかけづくりとなる講座やイベントを企画・開催するとともに、市と連携した運動入門や健康を守るつどい等の事業を開催し、健康増進と体力づくりの推進に努めている。 ・子育てリビングや図書館と連携し、複合施設の優位性を活かした事業を実施している。 ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援している。 ・トップアスリート事業を実施し、スポーツの普及と競技力向上に向けた取組を行っている。 ・子どもの成長に応じた子ども向けスポーツ教室を開催し、スポーツの普及や競技力向上等、付加価値の高いサービスを提供している。 ・幅広い世代が参加できる各種イベントを実施し、健康増進や体力の向上に取り組む機会を提供している。 	○
食育推進業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に実施。食育講座については、月1回ペースで実施。年12回程程度の講座を予定。</p> <p>【市】 連携を図りながら食育推進に取り組んでいる。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の食育推進計画に基づき、企画・運営されている。 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<ul style="list-style-type: none"> ・食育講座を1回／月以上実施している。 ・施設機能（子育てリビング・スポーツ）や関係機関、宮島工業高校との連携により効果的に食育推進に取り組んでいる。 ・市の特産物を活用し、地産地消に取り組んでいる。 ・食育推進リーダー育成に取り組んでいる。 ・食育推進のための会議に参加し、関係機関との連携を図っている。今後栄養士の配置等体制の整備により、適切な内容で食育事業が実施されることを期待する。 ・大野学校給食センターと事業連携して学校給食フェスタの充実を図ることができている。実施に当たっては、学校給食レシピを使った調理実習や体成分測定等や給食に関する展示を行うなど、事業の充実に努めている。 	
市民センター運営業務	<p>【指定管理者】 企画運営委員会と連携を図りながら、市の事業方針に沿って適切に運営を行っている。区長会、青少年育成廿日市市民会議大野支部、企画運営委員会、大野地域人権啓発推進協議会、大野福祉推進委員会へ参加しており、地域団体等と密接な関係を築いている。</p> <p>【市】 生涯学習機会の提供とともに、地域との連携、関係性の構築に取り組んでいる。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育士を配置し、適切に事業を実施している。 ・生涯学習の7領域のうち、「家庭教育支援」「青少年の育成」「健康作り」「安全・防災」の4領域に関する講座を開催し、幅広く市民の生涯学習機会を提供している。 ・万年青会や「健康おおの21」と連携したイベントを実施している。。 ・定例活動登録団体と連携した施設イベントを実施するなど、団体の活動成果の地域社会への還元の機会を提供している。 ・事業計画を策定し、主催事業を実施している。 ・大野区長会や宮島工業高等学校運営協議会、青少年育成廿日市市民会議大野支部、企画運営委員会等の地域団体と連携関係を積極的に構築している。 ・隔月で市民センターだより「きょうごや」を発行し、施設情報や地域情報を積極的に発信している。 ・企画運営委員会や市民センター所長会議等に参画し、情報を共有しながら、適切な事業の実施、施設運営に取り組んでいる。 	○
図書館運営業務	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき実施。イベント等の事業については事業実施報告書のとおり、各機能と連携して実施している。</p> <p>【市】 施設内機能や関係機関と連携した図書、読書の推進に積極的に取組むとともに、新たな企画にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節などに合わせた館内装飾や日々興味を引くコメントなどを掲示し、利用者が資料を手に取りやすい環境づくりやファシリテーター（外部講師）によるビジネス書読書会など、内容に即した企画運営を行い、積極的、効果的に読書活動の推進に取り組んでいる。 ・体育館や子育てリビング、保育園等と連携して、図書・読書の推進に積極的に取り組んでいる。 ・利用者の利便性の向上、資料収集サポート等有資格者による適切なレファレンスサービスを提供している。 ・定期的な研修等に参加し、人材の育成に取り組んでいる。 ・パスファインダーの設置や職員研修を実施し、レファレンスサービ 	○

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<p>スの充実に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもブックリストの作成、ブックスタート事業の実施、こどもボランティアによる「おはなし会」の開催など、子どもを対象とした事業に積極的に取り組み、子ども向けサービスの充実とともに読書活動の推進に取り組んでいる。 移動図書館、巡回貸出等、関係施設と連携を取りながら、適切に運用されている。 中国新聞デジタルデータ等の活用やビジネス支援に関する資料等の情報発信に取り組み、ビジネスコーナーの充実を図っている。 市内3館連携事業に協力し、実施されている。 <p>(指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案書では、「子ども読書の日」に「実施した記念事業で読書感想文展覧会を開催する。」とあるが、実施されなかった。 	
<p>子育てリビング 運営業務</p>	<p>【指定管理者】 要求水準書に基づき適切に運営を実施。定例イベントの他、妊産婦が交流できる食育講座や離乳食講座を実施。 10月をこども食堂のイベントとし、お菓子を配布。 12月の子育てフェスでは、地域サークルの活躍を推進すべく、出店や交流の場を提供し、活動を支援。地域との連携も図りながら子育て世代を支援。 不登校支援では、こども相談室大野教室と連携強化。毎月学校教育課に実績報告を開始。 放課後児童クラブでは、廿日市市内の公立児童会職員15名程度と見学会を通して連携を開始、意見交換の場を設けた。</p> <p>【市】 「ネウボラおおの」と連携し、適切に子育て支援が行われている。</p> <p>(評価ポイント)</p> <p>子育て支援センター（プレイルーム・親子交流コーナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> 10か月面談、乳幼児健診、子育て支援ネットワーク会議への参加など、ネウボラおおのと連携をとりながら子育て支援を推進している。 ハイリスクケースについては、連絡票を用いてフローチャートに沿って他地域も含め情報共有しながら支援を実施している。 運営に当たっては、保育士や子育て支援員等の有資格者を配置し、適切に行われている。 親子の様子を見守り、気軽に利用できる環境づくりに努めている。 有資格者を配置するとともに、市とも連携し、相談者の状況に応じた相談体制を整えている。 各種、遊びを通じた親子のふれあいの場の提供やニーズを捉えた講座やイベントを開催するとともに、仲間づくりや親子の交流の場を提供し、子育てによる孤独感や不安感の軽減を図っている。 1歳児から就学前の児童を対象に一時預かり事業を実施し、一定の成果を上げている。 <p>放課後児童クラブ（留守家庭児童会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブは、定員40人（登録者数54人）1クラスで、平日は下校時から19:30まで、土曜日・長期休業期間は7:30～19:30までの運営となっている。 対象は、大野東・西小学校、阿品台西小学校までであるが、現在の利用は大野東・西小学校となっている。 平日については、各校へ迎車を配車し、児童の安全の確保を図っている。 放課後児童クラブでは、有資格支援員等を配置し、児童の健康管理 	<p>○</p>

区 分	評価項目・評価内容	評価欄
	<p>から遊びを通じた活動、自主性・社会性・創造性など、子ども達の健全な育成に必要な活動が適切に実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の優位性を活かし、図書と連携した活動を実施 ・児童の利用のない時間帯では、学校や教育委員会、こども相談室と連携し、不登校支援を行い、一定の役割を果たしている。 	
独自事業	<p>【指定管理者】 FMはつかいちでの情報発信を実施。「市民センターまつり」ではFMはつかいちにMCを依頼した。大野商工会議所ともイルミネーションを借りるなど、またお互いのイベントを双方で発信するなど、大野町商工会（ADOA）とも連携を行っている。</p> <p>【市】 地域団体・事業者と関係性を構築し、連携して、効果的に事業展開している。</p> <p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康おおの21と共催し、講座等を実施している。 ・トレーニングメニューの作成や個別指導、関連アプリの導入・運用など、トレーニング室の充実を図っている。 ・イベントでは、地元「FMはつかいち」と連携し、広く、施設やイベントに関する情報を発信するとともに、連携して実施している。 ・また、大野町商工会とも連携し、相互に情報を発信するとともに、協力して事業実施している。 ・これまで試行してきたドライピッカーに代え、床面コーティングを実施。 ・現在、イベント広場等の管理に芝刈りロボットを検討中 	○

※チェックシートから各項目の評価結果を転記してください。

[意見記述欄] 業務点検	
指定管理者	<p>要求水準書に基づき適切に管理運営を実施している。 各機能で連携を行い、様々な事業を実施している。施設利用者も小中学生からご年配の方まで多岐に渡り、多世代の交流の場を創出できていると考える。 また、定期的に施設全体でのイベント（市民センターまつり）を実施しており、地域の賑わいづくりに貢献できていると思慮する。</p> <p>(市への要望等) 特段なし。</p>
市	<p>業務全般に渡り適正・適切に維持管理運営できていると評価する。</p> <p>その中で、図書館運営について、施設内の他の機能や保育園等と連携した取組や青少年の図書館利用の促進、中学生と協力した館内装飾デザインの作成など、積極的に新たな企画・取組が高く評価された。 指摘事項については、長寿命化計画の修正が滞っており、今年度中を期限とした提出を依頼している。</p>

総合評価

施設名称	廿日市市多世代活動交流センター（まるくる大野）
施設の設置目的	市民の様々な活動と交流の拠点として、子供から高齢者までの全ての世代を対象に、ライフスタイルに応じた支援、応援を行い、子育て環境の向上、生涯学習の振興、スポーツの推進及び福祉の増進を図る。

[意見記述欄] 総合評価	
指定管理者	<p>要求水準書に基づき適切に管理運営を実施できていると考える。</p> <p>特に来館者数については、12月時点で目標値より約15万人増加しており、施設の認知度は順調に高まってきていると考える。定期的な全館イベントも実施しており、各機能が連携することで、施設のカラーを出したイベントが実施できている。</p> <p>また、各機能ごとでも事業を展開しており、施設の賑わいづくりに努めている。引き続き、多世代が交流できる拠点となるよう尽力したい。</p>
市	<p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3四半期における利用者目標数は94,910人で、実績は144,869人と目標値の1.5倍となっている。第3四半期までの累計値が目標で284,730人に対し432,316人となっており、この傾向で推移すると60万人に迫る勢いである。 各機能の利用状況を前年度との累計比較で見ると、市民センターの利用が大きく伸び、38%増となっており、その存在や利用のしやすさなどが拡がり、定例活動以外の利用の増加につながっているものと推察される。 その他の機能は16%増となっている。 市民センターと体育館の定例活動団体数は増加しておらず、<u>一般利用の増加が、利用者全体の押し上げ要因となっており、固定的な利用から不特定への拡がりとなっていることは、事業のコンセプトからも高く評価できる。</u> 第3四半期における<u>子育て家庭や児童生徒の利用についても、子育てリビングと子ども図書館で31,240人、全体の22%で、その他の機能やロビーホールなどのフリースペースの利用者数の20%を子育て世帯や児童生徒の利用を仮定すると、全体の37%、54,000人の利用者数となる。</u> 単純に年間20万人を超える子育て家庭や児童生徒が利用すると推計でき、<u>親子や放課後の児童生徒の居場所として選ばれ、本施設の目的、役割は一定程度、果たしているものと評価できる。</u> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の実施状況に関しては、<u>全般的に適切に維持管理、運営できていると評価できる。</u> 事業に関しても、民間のノウハウを活かした、集客力の高いイベントや世代のニーズに応じた講座などを実施することで、利用者数を伸ばしている。 また、地域団体や地元企業、経済団体など関係団体との連携関係を構築し、数多くの講座やイベントを実施し、広く市民の学習や体験の機会を提供することができている。 今後においても、セルフモニタリングやアンケート調査などを実施しながら、利用者ニーズやその変化に対応した施設運営ができるよう、情報の収集、分析を行っていくことが求められる。 また、毎月開催される定例会議（まるくる日和）において、市と指定管理者が、その成果や課題を共有しながら、市民にとって有益なサービスを提供することができていると評価できる。 今後においても、利用者ニーズやその変化に敏感に対応しながら、市民にとって有益な施設であり続けられるよう、市と指定管理者が連携、協働して運営していく。 <p>(指摘事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本施設の計画的修繕については、保全管理を前提とした長寿命化計画に基づき実施することとなっており、また、毎年度のサービス対価（指定管理料）に反映する必要があることから、長寿命化計画を早急に補正・調製し、提出すること。

